

まちづくりの分野5:経済

市民評価（まちづくりの基本目標の実現度合い（5段階評価））

- ⑩ 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち
【市民評価:現状値 3.29(2022年度)→目標値 3.60(2031年度)】
- ⑪ 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち
【市民評価:現状値 2.89(2022年度)→目標値 3.30(2031年度)】
- ⑫ 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち
【市民評価:現状値 2.84(2022年度)→目標値 3.20(2031年度)】

成果指標（再掲する指標を含む）

指 標	現状値	目標値
人口一人当たりの市内総生産（名目）	386 万円/人 (2019 年度)	399 万円/人 (2027 年度)
冬期（12～3月）の観光客数	421 万人 (2018 年度)	451 万人 (2027 年度)
20～29 歳の道外への転出超過数（日本人のみ）	2,135 人 (2022 年度)	950 人 (2027 年度)
札幌市内での総観光消費額	5,780 億円 (2018 年度)	7,211 億円 (2027 年度)
就業率	49% (2020 年度)	52% (2027 年度)

関係するSDGsのゴール



基本目標 10 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

一人当たりの市民所得が政令指定都市の中でも低く、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小、人手不足などが課題である中、若者の道外流出の抑制や市民所得の増加に向け、今後成長が期待される分野の産業が市内経済をけん引していく存在になるよう支援を行い、道内の経済成長につなげていくことが必要です。なお、県外への移動自粛や外国人の入国制限等コロナ禍の影響を強く受けた観光振興に係る事業の目標値については、客観的に事業の成果を図るため、コロナ禍の影響を受ける前の直近値を当初値として設定しております。

目指す姿

- 1 札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を的確に捉え、国内外からの新たな消費を生み出し、札幌市はもとより北海道の経済成長をけん引しています。
- 2 IT分野やクリエイティブ分野、健康福祉・医療分野の産業が、国内外から投資や人・企業を呼び込み、札幌市の新たな強みとして更なる成長を遂げています。

充実・強化する取組

- 食の輸出拡大やブランド力向上の更なる推進
- 国内外から獲得する観光消費の拡大に向けた支援
- IT分野やクリエイティブ分野、健康福祉・医療分野の産業の成長の促進

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 事業目標
ふるさと納税活用事業 総)秘書部 [10,097百万円]	札幌ならではの返礼品や寄付金の具体的な使い道を示すことで札幌市を応援したいという方からの寄付を増やし、シティプロモート ¹¹⁶ につなげます。 札幌市へのポータルサイト経由の寄付額 2022:1,521,152千円 ⇒ 2027:5,000,000千円
首都圏シティプロモート 推進事業 S1 人 総)東京事務所 [87百万円]	首都圏において札幌の魅力を伝えるシティプロモーションを実施し、札幌ファンの拡大や札幌への資源の呼び込みにつなげるため、企業・人材等とのネットワークの構築・強化を進めます。 シティプロモート活動を通じてつながりができた企業等の数 2022:4,463社 ⇒ 2027:5,613社
道内地域活性化連携推 進事業 人 政)政策企画部 [32百万円]	道内の地域活性化を図るため、札幌の都市機能の活用促進や、関係人口 ¹¹⁷ 創出などを通じたさっぽろ連携中枢都市圏の住民と道内市町村をつなぐまちづくり活動の促進等の取組を行います。 さっぽろ圏の若者と道内地域との関わりをつくる事業をきっかけとして道内地域の関係人口となった、若しくは興味を持った人の数(累計) 2022:- ⇒ 2027:300人

¹¹⁶ シティプロモート：まちの魅力を再発見し、創造することで新しい都市の輝きをつくり出すとともに、市民が誇りをもってその魅力を内外に発信することで、世界の人々と多様な関係を築くための一連の活動。

¹¹⁷ 関係人口：定住人口でもなく、観光による交流人口でもない、地域と多様に関わる人々を指す表現。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
札幌未来牽引企業創出 事業 S1 人 経)産業振興部 [444 百万円]	地域経済をけん引する企業を創出し、雇用の拡大と地域経済の好循環の達成を図るため、成長が見込まれる市内中小企業に対し、集中的な支援を行います。 市内企業の新規株式上場数(累計) 2022:2社 ⇒ 2027:15 社
デザイン産業振興事業 S1 人 経)産業振興部 [132 百万円]	市内企業のブランド力向上・市内デザイン産業の活性化のため、デザイン経営 ¹¹⁸ の導入支援を行います。 市内クリエイティブ産業 ¹¹⁹ の売上高 2022:- ⇒ 2027:659,321 百万円
コンテンツ ¹²⁰ 産業振興 事業 S1 人 経)産業振興部 [502 百万円]	コンテンツ産業分野の活性化のため、市内企業の開発支援や人材育成に取り組めます。 市内クリエイティブ産業の売上高 2022:- ⇒ 2027:659,321 百万円
食の輸出拡大支援事業 人 経)産業振興部 [325 百万円]	市内食関連事業者の国内外への販路拡大を目的に、官民連携による商談機会の創出や、海外進出に取り組む企業へのニーズに応じた支援を実施します。 各事業の成約・売上合計額(累計) 2022:45 億円 ⇒ 2027:96 億円
食の輸出力強化支援事 業 人 経)産業振興部 [465 百万円]	市内食関連事業者の輸出力・国際競争力を強化するため、国内外の社会的ニーズへの対応に積極的に取り組む事業者を支援します。 補助事業による開発商品の売上額(累計) 2022:- ⇒ 2027:3億円
美食のまち・さっぽろブラン ド推進事業 人 経)産業振興部 [125 百万円]	札幌の食の競争力向上を目的に、関連企業の共創の場を形成することを通じたイノベーション ¹²¹ の誘発や映像等を活用した食の魅力発信を行います。 札幌の魅力が「食」であると思う人の割合 2022:45.4% ⇒ 2027:60%
ITイノベーション推進事 業 S1 人 経)経済戦略推進部 [453 百万円]	市内IT産業の競争力向上、市場拡大を実現するため、AI、XR ¹²² などの成長分野を始めとする新たなビジネス展開を支援するとともに、地場産業との協業によるイノベーションを促進します。 市内IT産業売上高 2022:4,623 億円 ⇒ 2027:5,300 億円
IT人材確保育成事業 S1 人 経)経済戦略推進部 [200 百万円]	未来の社会を創造する高度なIT人材の育成に推進するとともに、市内企業のIT人材の確保を支援します。 札幌市内のIT産業従事者数 2022:19,519 人 ⇒ 2027:21,000 人

¹¹⁸ デザイン経営：デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する経営。

¹¹⁹ クリエイティブ産業：個人の創造性や技能・才能に由来し、また、知的財産権の開発を通じて富と雇用を創造し得る産業。

¹²⁰ コンテンツ：様々なメディアで流通され、動画・静止画・音声・文字などによって構成される情報の中身。

¹²¹ イノベーション：新しい方法、仕組み、習慣などを導入することをいい、新製品の開発や生産方法の改良、新しい資源や原料の開発、組織体制の改変等により、新しい価値を生み出すこと。

¹²² XR：「X(Cross) Reality」の略称で、VR(仮想現実)・AR(拡張現実)・MR(複合現実)など、現実世界と仮想世界とを融合させ、新たな体験や価値を生み出す先端技術の総称。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 事業目標
バイオ企業等育成支援 事業 W S1 人 経)経済戦略推進部 [465 百万円]	大学等の優れた研究シーズを基に成長が期待される健康福祉・医療関連企業の研究開発、産学連携、ビジネス機会拡大等を促進することにより、健康医療バイオ産業 ¹²³ を活性化し札幌の新たな基幹産業へと育成します。 市内バイオ産業の売上高 2022:104,264 百万円 ⇒ 2027:119,000 百万円
バイオ産業成長促進事 業 W S1 人 経)経済戦略推進部 [100 百万円]	健康医療バイオ分野の産業集積に向け、医療機関と研究者・企業の連携促進イベント、VC ¹²⁴ 等とのネットワーク構築、起業家・理系人材育成等を実施し、バイオベンチャーの成長しやすい環境を構築します。 市内バイオ産業の売上高 2022:104,264 百万円 ⇒ 2027:119,000 百万円
半導体関連産業集積促 進事業 S1 人 経)経済戦略推進部 [68 百万円]	道内における半導体製造拠点などの集積を契機として、半導体・デジタル関連企業や人材の集積促進を図るため、関連分野の人材育成に取り組むとともに、関連産業の拠点形成に向けた検討を行います。 市内IT産業売上高 2022:4,623 億円 ⇒ 2027:5,300 億円
定山溪地区魅力アップ 事業 人 経)観光・MICE 推進部 [1,000 百万円]	定山溪観光魅力アップ構想の実現に向け、エリア内の周遊促進とにぎわいづくりを行うためのソフト・ハード事業の展開、老朽施設の改修、国内外への積極的なPR活動等を実施します。 定山溪の年間宿泊者数 2018:118 万人 ⇒ 2027:130 万人
MICE ¹²⁵ 推進事業 人 経)観光・MICE 推進部 [917 百万円]	MICEを継続誘致し、高い経済効果の獲得とレガシー効果 ¹²⁶ を生み出すため、ブランディングに向けた取組、開催効果最大化に向けた取組、環境に配慮されたMICEの開催に向けた取組を行います。 ICCA基準 ¹²⁷ による国際会議開催実績アジアパシフィック圏順位 2019:27 位 ⇒ 2027:20 位以内
観光閑散期の需要創出 事業 人 経)観光・MICE 推進部 [403 百万円]	観光閑散期にインバウンドを含めた道外からの観光需要創出が期待される大規模イベントに対して、補助金等による効果的な支援を行うことで、誘致・開催を促します。 当該支援を活用したイベントへ参加者数(累計) 2022:- ⇒ 2027:80,000 人

¹²³ 健康医療バイオ産業：医薬品や医療機器の研究開発など、健康、医療、バイオ（生物学）に関わる技術を活用する産業。

¹²⁴ VC：Venture Capital（ベンチャーキャピタル）の略称。将来的に高い成長が見込まれる未上場の新興企業に投資を行う会社やファンドを指す。

¹²⁵ MICE：多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントの総称。Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel/Tour（企業等の行う報奨・研修旅行）、Convention（国際機関・団体・学会等が行う国際会議等）、Exhibition/Event（展示会/見本市・イベント等）の頭文字をとったもの。

¹²⁶ レガシー効果：ビジネス及びイノベーション機会の創造や、戦略分野・成長分野における学術・産業振興等による都市の競争力向上など、地域へもたらされる経済効果以外の効果。

¹²⁷ ICCA基準：ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が定める国際会議の基準。総参加者数 50 名以上かつ 3 カ国以上で持ち回り開催しているものを指す。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
さっぽろオータムフェスト 事業 人 経)観光・MICE 推進部 [180 百万円]	<p>秋季の観光客増加と道内各市町村の魅力発信のため、オータムフェストを実施する実行委員会に対し、事業負担金を支出します。</p> <p>オータムフェスト来場者数 2019:241 万人 ⇒ 2027:250 万人</p>
(仮称)新MICE施設整備 事業 人 経)観光・MICE 推進部 [-]	<p>大規模な国際会議等を積極的に誘致するため、メインホール・会議室・展示場が一体となった新MICE施設の整備や、その運営手法について検討します。</p> <p>- 2022:- ⇒ 2027:-</p>
さっぽろ雪まつり事業 S2 人 経)観光・MICE 推進部 [2,431 百万円]	<p>冬の来札観光客の増加につなげるため、さっぽろ雪まつりを実施する実行委員会に対し、事業費補助金を支出します。</p> <p>経済波及効果 2017:650 億円 ⇒ 2027:700 億円</p>
観光マネジメント強化事業 人 経)観光・MICE 推進部 [18 百万円]	<p>札幌の経済成長をけん引する観光産業の持続的な発展に向けて、観光振興施策を計画的・戦略的に推進するため、計画策定や財源確保、推進体制の強化等の観光マネジメント機能の強化に取り組みます。</p> <p>DMO¹²⁸設立に向けた検討 2022:- ⇒ 2027:検討完了</p>
持続可能な観光推進事業 人 経)観光・MICE 推進部 [7 百万円]	<p>「持続可能な観光」の推進に向けた観光関連事業者への普及啓発や市民理解の促進に取り組むとともに、取組の発信により観光地としてのブランド力を高めます。</p> <p>GSTCの国際基準¹²⁹に準拠する認証ラベルの取得等の取組を行った市内事業者数・施設数 2022:2件 ⇒ 2027:18 件</p>
付加価値の高い観光コンテンツ創出事業 人 経)観光・MICE 推進部 [338 百万円]	<p>多様な切り口による観光資源の創造に伴う、ツーリズム等の新たなマーケットの創出と消費行動の拡大、リピーターの増大、関連産業の成長を図るとともに、持続可能な観光に資する取組を進めます。</p> <p>平均滞在日数(海外客) 2018:1.33 日 ⇒ 2027:1.46 日</p>
アドベンチャーツーリズム ¹³⁰ 推進事業 人 経)観光・MICE 推進部 [57 百万円]	<p>ATWS2023¹³¹の開催を通じ、高単価・高付加価値で持続可能な代表的ツーリズムの推進を図るための取組を実施します。</p> <p>平均滞在日数(海外客) 2018:1.33 日 ⇒ 2027:1.46 日</p>

¹²⁸ DMO: Destination Management / Marketing Organization の略称。観光地域づくり法人。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

¹²⁹ GSTCの国際基準: グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会が定める持続可能な旅行と観光のための国際的な基準。

¹³⁰ アドベンチャーツーリズム: 「アクティビティ」、「自然」、「異文化体験」の3つの要素のうち2つ以上で構成される旅行形態。

¹³¹ ATWS2023: ATWS (アドベンチャートラベル・ワールドサミット) は、アドベンチャートラベル (AT) に関する国際団体であるアドベンチャートラベル・トレードアソシエーションが開催する世界中のAT関係者が一堂に会する国際会議で、ATWS2023は、2023年9月に北海道・札幌で開催される同会議の名称。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
観光案内所運営事業 U 人 経)観光・MICE 推進部 [301 百万円]	観光情報を提供する観光案内所(北海道さっぽろ観光案内所、大通公園観光案内所等)を運営します。 観光情報の提供に対する満足度(国内) 2018:82.3 % ⇒ 2027:90%
観光客受入環境整備事業 U 人 経)観光・MICE 推進部 [364 百万円]	観光客の満足度向上及び再訪率増加のため、無料 Wi-Fi の運用、観光案内サイン等の維持管理、観光バス対策、観光施設の魅力アップ、宿泊施設の整備等の受入環境整備を実施します。 観光地としての総合満足度(外国人) 2018:60.2% ⇒ 2027:69.2%
観光人材育成支援事業 人 経)観光・MICE 推進部 [143 百万円]	札幌観光の更なる満足度向上につなげるため、札幌ならではの観光コンテンツの発掘・開発を通じた観光事業者のスキルアップや、産学連携による人材育成を実施します。 滞在中に受けたおもてなしに対する満足度(国内) 2018:82% ⇒ 2027:92%
観光客二次交通 ¹³² 対策 推進事業 人 経)観光・MICE 推進部 [3百万円]	観光客の満足度が低い「市内の移動のしやすさ」の改善のため、市内の周遊に当たり観光客が感じる不便さなどについて調査し、課題解決に向けた取組を検討します。 観光スポットへの交通アクセスに対する満足度(外国人) 2022:60.1% ⇒ 2027:70%
宿泊施設バリアフリー化 推進事業 U 人 経)観光・MICE 推進部 [388 百万円]	宿泊施設のバリアフリー化推進のため、市内宿泊施設が行う客室等の改修に係る経費の補助や、旅行に不安を抱える方の観光需要の喚起を図るための取組などを実施します。 市内バリアフリー客室整備数 2022:- ⇒ 2027:142 室
さとらんど魅力アップ事業 人 経)農政部 [46 百万円]	農業に対する市民の知識・理解の深化及び緑豊かな憩いの場を提供するため、生産支援ゾーンの活用を含めた機能再編及びPFI ¹³³ 導入の検討など、さとらんどの魅力向上に向けた再整備計画を検討し、実施します。 入園者数 2022:405,780 人 ⇒ 2027:750,000 人
札幌市農業経営安定強化 事業 人 経)農政部 [85 百万円]	地産地消の推進・環境保全型農業・安全・安心な農畜産物の生産供給に寄与する農業者に対し、機械・施設の導入等を支援・助成し、農業経営の安定化を図ります。 農業経営改善計画に基づき認定された農業者(累計) 2022:1件 ⇒ 2027:15 件
円山動物園おもてなし事業 人 環)円山動物園 [41 百万円]	国内外の観光誘客のため、来園者の観覧環境の充実を図ります。 動物園にまた来たいと回答した人の割合 2022:74% ⇒ 2027:79%

¹³² 二次交通：拠点となる空港や鉄道の駅から観光地までの交通。

¹³³ PFI：PFI (Private Finance Initiative) は、公共施設などの設計、建設、維持管理や運営に、民間の資金・経営力・技術力を活用し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を行うものであり、PPPの一類型である。

その他の事業

事業名		計画事業費	担当部
さっぽろホワイトイルミネーション事業	S2 人	560 百万円	経) 観光・MICE 推進部
都心における冬のアクティビティ創出事業	S2 人	150 百万円	経) 観光・MICE 推進部
国内観光振興事業	人	195 百万円	経) 観光・MICE 推進部
国際観光誘致事業	人	500 百万円	経) 観光・MICE 推進部
広域連携による観光振興事業	人	110 百万円	経) 観光・MICE 推進部
観光情報発信事業	人	125 百万円	経) 観光・MICE 推進部
おもてなし推進事業	U 人	85 百万円	経) 観光・MICE 推進部

基本目標 11 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち

安定した経済成長を支えるためには、デジタル技術等の活用により生産性を高め、中小企業や商店街などの経済活動を活発化させるとともに、起業家を育成・支援する体制や環境を充実させ、多くのスタートアップや企業の創業・立地を促進し、ビジネスチャンスや新たな価値を創出していくことが必要です。

目指す姿

- 1 中小企業・小規模企業や商店街など、事業を営むもの全ての活動が活発で、地域のにぎわいや経済を支えています。
- 2 様々な分野でデータや先端技術が活用され、生産性が向上することにより、人口減少社会においても持続的な経済成長を遂げています。
- 3 行政、大学、民間組織などの関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実し、誰もがチャレンジできる文化が根付くことにより、多くのスタートアップが生まれ続けています。
- 4 様々な企業の立地や創業が進むことにより、産学官連携や、国内はもとより海外の企業などとの交流が活発に行われ、ビジネスチャンスや新たな価値が創出され続けています。

充実・強化する取組

- 中小企業におけるデータや先端技術の活用への支援
- スタートアップの創出の促進
- 企業誘致の促進

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 事業目標
産業振興拠点施設リニューアル事業 <input type="checkbox"/> S1 <input type="checkbox"/> 人 経)産業振興部 [9百万円]	昨今の社会経済環境の変化及び第2次札幌市産業振興ビジョンを踏まえたこれからの産業振興拠点施設の在り方について調査検討を実施します。 基本計画検討 2022:－ ⇒ 2023:実施
札幌企業SDGs推進事業 <input type="checkbox"/> W <input type="checkbox"/> S1 <input type="checkbox"/> S2 <input type="checkbox"/> 人 経)産業振興部 [107百万円]	SDGsに取り組む企業を認定する仕組みを創設し、あわせて、インセンティブを設けることで、市内企業のSDGs達成に向けた取組を推進します。 SDGsに取り組む市内企業の割合 2022:17% ⇒ 2027:40%
新製品開発・販路開拓支援事業 <input type="checkbox"/> 人 経)産業振興部 [405百万円]	市内中小企業等が行う、環境関連分野を含む重点分野を中心とした新製品や新技術の企画・開発、既製品の付加価値向上を目的とした改良、販路拡大に向けた取組に対する支援を行います。 新製品開発・販路開拓支援採択後、5年目までの売上額(累計) 2022:4,020百万円 ⇒ 2027:5,020百万円
商店街地域力向上支援事業 <input type="checkbox"/> W <input type="checkbox"/> S2 <input type="checkbox"/> 人 経)産業振興部 [85百万円]	商店街が立地する地域コミュニティの活性化のため、商店街が行う地域のにぎわい創出や、SDGsの実現に資する地域課題解決のための取組を支援します。 補助の活用により地域コミュニティの活性化に寄与できたと回答した商店街の割合 2022:－ ⇒ 2027:100%

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
商店街商業機能向上支援事業 S1 人 経)産業振興部 [155 百万円]	商店街の集客力向上のため、商店街が実施する販売促進活動、環境整備などの取組並びに商店街加盟店の店主を中心としたグループによる新商品開発などを支援します。 補助の活用により来街者が増加したと回答した商店街の割合 2022:- ⇒ 2027:100%
商店街基盤強化事業 人 経)産業振興部 [92 百万円]	商店街の組織基盤強化のため、専門家を派遣することにより商店街の自主的な取組の創出を支援するとともに、若手店主等の商店街加入促進を支援します。 応援隊(専門家)の派遣が自主的な取組の創出を検討するのに役立ったと答えた商店街の割合 2022:- ⇒ 2027:100%
創業促進支援事業 人 経)産業振興部 [199 百万円]	創業当初に係る経費補助やインキュベーション施設入居企業に対する支援を実施します。 札幌市の特定創業支援等事業による支援と補助金を受け、法人を設立した件数(累計) 2022:203 件 ⇒ 2027:1,200 件
海外展開支援事業 人 経)経済戦略推進部 [368 百万円]	海外展開専門家のコンサルティング、海外に挑戦する企業への補助、海外都市や経済団体と構築した提携関係を活用した経済交流事業の実施等を通じて、市内企業の海外展開を総合的に支援します。 海外展開支援事業におけるコンサルティング支援のマッチング支援数(累計) 2022:25 件 ⇒ 2027:125 件
海外投資誘致事業 S1 人 経)経済戦略推進部 [143 百万円]	海外からの投資を誘致し、優れた技術やノウハウを積極的に取り込むことでイノベーションの創出や生産性の向上につなげるため、札幌市の魅力を海外・外資系企業等に発信するとともに、外資企業 ¹³⁴ の受け入れ体制を整備します。 当市が支援等の関与をし、海外から札幌市に進出した企業数(累計) 2022:- ⇒ 2027:5 社
国際ビジネス人材支援事業 U S1 人 経)経済戦略推進部 [48 百万円]	市内企業の海外展開を推進するため、外国人材や国際感覚を有する人材等の国際ビジネス人材の市内企業への就職、定着を支援し、海外展開の気運を醸成します。 国際ビジネス人材と企業のマッチングによる内定者数 2022:2人 ⇒ 2027:20 人
企業立地促進事業 S1 人 経)経済戦略推進部 [8,568 百万円]	雇用創出や経済の活性化、産業基盤の強化を図るため、補助制度の活用や魅力的な都市環境のPRなど、積極的な誘致活動を通じて企業の立地や設備投資を促進します。 PR活動等により立地した企業数(累計) 2022:- ⇒ 2027:75 件

¹³⁴ 外資企業：資本構成の上で外国資本が占める比率の高い企業。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
流通機能強化・販路拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 人 経)経済戦略推進部 [26,952 百万円]	新展示場整備により産業交流・販路拡大の機会の増進を促すとともに、大谷地流通業務団地 ¹³⁵ を核とした流通機能を強化します。 本事業で実施する販路拡大事業に参加した企業の商談額(累計) 2022:211 百万円 ⇒ 2027:381 百万円
中小企業DX推進事業 <input type="checkbox"/> S1 経)経済戦略推進部 [249 百万円]	市内中小企業におけるDXを推進するため、DXの普及促進、DX推進人材の育成から、伴走型相談支援、市内IT企業との協業機会創出、デジタル化・DX促進に向けた補助制度等の各種支援を一気通貫で実施します。 DXに取り組む(取り組もうとしている)市内企業の割合 2022:29% ⇒ 2027:40%
スタートアップ・エコシステム構築事業 <input type="checkbox"/> S1 <input type="checkbox"/> 人 経)経済戦略推進部 [2,256 百万円]	将来、地域経済をけん引する世界的なスタートアップ企業を輩出するために、札幌・北海道発のスタートアップの母数を増やし、成長を支援します。 資金調達を行った道内スタートアップの数(単年度) 2022:27 社 ⇒ 2027:55 社
東区地域連携魅力創出・発信事業 東)市民部 [5百万円]	区が主導して区内企業・学校等の連携を促し、東区ならではの魅力資源(特産品・サービス等)の開発支援によりブランド化の環境を整えることで、区内外での新たな消費を生み出し、地域全体の活性化を図ります。 新たに創出した東区ならではの魅力資源の数(食品・雑貨等の特産品、地域独自のサービス・イベント等) 2022:- ⇒ 2027:4件

その他の事業

事業名	計画事業費	担当部
札幌市産業振興ビジョン改定 <input type="checkbox"/> 人	11 百万円	経)産業振興部
中小企業金融対策資金貸付事業 <input type="checkbox"/> 人	440,547 百万円	経)産業振興部
中小企業融資促進事業 <input type="checkbox"/> 人	1,627 百万円	経)産業振興部
中小企業経営支援事業 <input type="checkbox"/> 人	489 百万円	経)産業振興部

¹³⁵ 大谷地流通業務団地：札幌市白石区流通センター付近に存在する流通業務団地で、北海道の流通経済基地としての役割を担っている。

基本目標 12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち

女性や高齢者の有業率の低さや若い世代の有業者における長時間労働という傾向がある中、複数の産業分野で生じている人手不足の解消に向け、希望する誰もが安定して働ける仕事に就けるための企業と求職者とのマッチング支援や、価値観やライフスタイルに応じて多様で柔軟な働き方ができる環境の整備が必要です。

目指す姿

- 1 安心して働くことができる魅力的な雇用が安定的に確保されるとともに、企業も必要とする人材を確保できています。
- 2 多様な人材が自身の持つ能力を発揮し、誰もがやりがいや充実感を得ながら働くことができるとともに、高い専門性を生かすことができる職場で、若い世代を始めとした幅広い年代の人材が活躍しています。また、こうした多様性が、イノベーションをもたらすきっかけとなっています。
- 3 働きやすい職場環境が整備されるとともに、多様で柔軟な働き方や、仕事と生活の調和の取れた生き方が実現しています。

充実・強化する取組

- 人手不足の解消に向けた人材確保への支援
- 求職者への就業支援と働きやすい職場環境の整備

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 事業目標
さっぽろ圏人材育成・確保基金造成事業  政)政策企画部 [320 百万円]	若者の地元定着のための奨学金返還支援等のさっぽろ圏の人材育成に資する取組を効果的に実施することを目指し、基金を造成します。 さっぽろ圏人材育成・確保基金への寄付額(累計) 2022:239,592 千円 ⇒ 2027:302,000 千円
働きやすいまち推進に向けた協議会の設置及び新たな仕組みの創設事業  財)管財部・経)産業振興部 [4 百万円]	札幌市が「働きやすいまち」となるよう、新たに経済界、労働界、札幌市の3者からなる協議会を設置し、人手不足の解消や、労働者の雇用環境の向上への対応方針を検討するとともに、新たな仕組みの創設に取り組みます。 働きやすいまち推進に向けた協議会の開催 2022:- ⇒ 2027:実施
入札・契約制度の改善事業  財)管財部 [-]	現場で働く労働者の適正な処遇の実現とキャリアパス ¹³⁶ の明確化等、担い手確保につながる取組を促進します。また、公共工事の品質確保とダンピング ¹³⁷ 対策の強化を図るため、総合評価落札方式 ¹³⁸ の改善を進めます。 工事の競争入札に占める総合評価落札方式の割合 2022:22% ⇒ 2027:25%

¹³⁶ キャリアパス：従業者が将来展望を持って働き続けることができるよう、能力・資格・経験等に応じた処遇が適切になされる仕組み。

¹³⁷ ダンピング：適正な施工等が通常見込まれない不当に低い価格での業務の請け負いや販売。

¹³⁸ 総合評価落札方式：公共工事等の契約の相手方を選ぶ際に、価格と技術的要素等を総合的に評価し、落札者を決定する方式。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
ものづくり企業人手不足 対策事業 人 経)産業振興部 [225百万円]	若年層に対してものづくり企業の魅力を発信するほか、女性就職促進の補助等、ものづくり企業の採用力強化を後押しするとともに、機器導入により省力化を促すことで、地元ものづくり企業の人手不足解消の取組を支援します。 製造業の人手不足の企業の割合 2022:59.3% ⇒ 2027:50%
就業サポートセンター等 事業 U 人 経)産業振興部 [971百万円]	市民の多様な就業ニーズに応えるため、就業サポートセンターを中核に据えた就労支援施設を全区に展開し、職業紹介やセミナー、スキルアップ講座、職場体験等の各種サービスを提供します。 就業サポートセンター及びあいワーク ¹³⁹ を利用して就職した人数(累計) 2022:4,086人 ⇒ 2027:28,500人
シニアワーキングさっぽ ろ開催事業 U W 人 経)産業振興部 [97百万円]	高齢者の就業支援及び市内企業の人材確保のため、高齢者雇用の意識醸成を図る企業向けセミナー及び体験付き仕事説明会を開催します。 シニアワーキングをきっかけとした就職者数(累計) 2022:222人 ⇒ 2027:2,100人
女性の多様な働き方支 援窓口運営事業 U 人 経)産業振興部 [290百万円]	女性向け就労支援窓口「ここシェルジュ SAPPORO」において、不安や悩みがあり就職活動に踏み切れない子育て中の女性や結婚・出産後も働き続けることを希望する女性に対し、個別相談、職場体験、セミナー等の各種サービスを提供するとともに、在宅ワークに係る支援を強化します。 就職を希望する登録者のうち、就職活動を始めた人数(累計) 2022:311人 ⇒ 2027:2,050人
ワークトライアル事業 人 経)産業振興部 [480百万円]	新卒未就職者、おおむね50歳以下の求職者及び非正規社員等を対象に、座学研修と研修給付金のある職場実習を通じて、さっぽろ圏内企業への正社員として又は正社員への転換の可能性のある就職を支援します。 事業参加者の正社員就職率 2022:70% ⇒ 2027:70%
UIJターン ¹⁴⁰ 就職移住 支援事業 人 経)産業振興部 [590百万円]	UIJターン希望者と求人登録企業のマッチングを図る常設の拠点における職業紹介や移住支援金の受付を通じ、UIJターン希望者の精神的・経済的不安を軽減するとともに、大学への更なる連携を図り、札幌市へのUIJターンを支援します。 UIセンター登録者の就職者数(移住世帯数) 2022:149人 ⇒ 2027:170人
ローカルマッチプロジェ クト事業 人 経)産業振興部 [72百万円]	市内中小企業を対象に、民間の就職支援サイトへの情報掲載及び合同企業説明会・セミナーの開催等の支援を通じ、地元企業と学生とのマッチングを促進します。 過去5年間の掲載企業の新卒求人充足率(採用決定者数/採用予定者数) 2022:63.5% ⇒ 2027:65%

¹³⁹ あいワーク：ハローワークと札幌市が共同で運営する就職に関する相談窓口。

¹⁴⁰ UIJターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
奨学金返還支援事業 [315 百万円] 経)産業振興部 [人]	学生時代に貸与型奨学金を利用した方が、札幌市が認定する企業等へ就職し、さっぽろ圏内に居住した場合、就職後2～4年目に、年間最大 18 万円を3年間(最大 54 万円)支援します。 連携中枢市町村の企業へ就職する支援対象者数 2022:108 人 ⇒ 2027:150 人
働き方改革推進事業 [577 百万円] 経)産業振興部 [U][S1][人]	テレワーク ¹⁴¹ の導入への補助等によりテレワークの拡充・定着を促進し、働き方改革を推進します。 人材を確保できている企業の割合 2022:26.4% ⇒ 2027:35%
農業担い手育成・支援事業 [117 百万円] 経)農政部	札幌の農業を支える担い手に対し、各種の補助制度や研修機会等の活用を通じて経営の改善を図り、生産環境を維持します。 意欲ある多様な担い手の農地利用面積割合 2022:75.7% ⇒ 2027:80%
建設産業活性化推進事業 [144 百万円] 建)土木部 [S2]	将来にわたる建設産業の健全な体制確保に向けて、「さっぽろ建設産業活性化プラン」に基づき、就業環境改善等に対する助成制度の拡充のほか、担い手確保・育成や生産性向上等に資する各種施策を推進します。 建設産業に対して魅力を感じる人の割合 2022:30% ⇒ 2027:50%

その他の事業

事業名	計画事業費	担当部
札幌市シルバー人材センター運営補助事業 [U][W]	175 百万円	経)産業振興部
中小企業採用力等強化事業 [人]	41 百万円	経)産業振興部

¹⁴¹ テレワーク：ICTを活用した、時間や場所に捉われない柔軟な働き方のこと。